

「理学部サイエンスカフェ 2007 @駒場」の開催

教務委員長 岡 良隆 (生物科学専攻 教授)

理学部では従来、高校生を対象としたサイエンスカフェ本郷を実施しておりますが(この下の記事を参照)、さらに新しい試みとして、駒場の教養学部1・2年生を対象としたサイエンスカフェを、

以下の予定で実施いたします。これは、理学部で行っている研究の魅力に触れてもらうとともに、専門学部や大学院への進学にさいして教養学部生が疑問に思っていることを、理学部の学部生

・大学院生・教員に対して、リラックスした雰囲気の少人数のテーブルで、お茶を飲みながら気楽に質問してもらうのをおもな目的として初めて開催するものです。

日時: 12月14日(金) 午後4:00~8:00

午後6:00~6:30「理学の魅力語る」講演(岩澤康裕教授・前理学部長)

場所: 駒場コミュニケーション・プラザ南館2階 Dining 銀杏

「高校生のためのサイエンスカフェ本郷」も Science Cafe Hongo 第3回を開催

サイエンスカフェ実行委員長 小形 正男 (物理学専攻 准教授)

来る2007年12月22日(土)午後1時から、理学部1号館小柴ホールにおいて理学の魅力伝える「高校生のためのサイエンスカフェ本郷」の第3回を開催いたします。これは、去る6月17日(日)に開催した第2回に引き続くもので、そのときは女子高校生を対象としましたが、今回は男女を問いません。この催しは、高校生に集まっていたいただき、理学系研究科において活躍する大学院生と、気軽な雰囲気の中で最先端の科学

のことを語り合い、またそれと合わせて、理学系のキャリアパスや大学生活、研究生活についても語り合っていたらこうという趣旨のものです。高校生の皆さんに科学の現場をより身近に感じていただければと考えています。

今回は「砂がつくる豊かな世界ー粒の「大きさ」からわかる身近な科学ー」と題して、物理学専攻の博士課程3年の辰巳創一さんに講演してもらいます。高校で習う物理学とは少し違った観点から、

身の回りの世界での科学の面白さが伝わることと思います。また途中で、いくつかの研究室見学も予定しています。多くの方に来ていただけるよう、ぜひ、周囲の高校生に声をかけていただければと思います。

なおこのサイエンスカフェ本郷は事前申し込み制です。定員は50名で、参加費は無料です。詳しくはホームページ(<http://www.s.u-tokyo.ac.jp/cafe3/>)をご覧ください。

東京大学大学院理学系研究科・博士学位取得者一覧

(2007年9月)

(※)は原著が英文(和訳した題名を掲載)

種別	専攻	申請者名	論文題目
2007年9月21日付学位授与者 (3名)			
課程博士	地惑	西野 真木	地球磁気圏近尾部の冷たいプラズマシートの性質(※)
課程博士	生化	西 賢二	新規エンドサイトーシス経路によるヘルペスシンプレックスウイルス VP22-PTD の細胞内取り込み
課程博士	生科	西澤 大輔	薬物感受性個人差に対するオピオイド関連遺伝子多型の寄与(※)
2007年9月28日付学位授与者 (7名)			
課程博士	物理	茂地 圭一	可解頂点模型と組み合わせ論的数えあげ(※)
課程博士	物理	鈴木 仁研	遠赤外線光伝導型検出器における放射線影響の研究と「あかり」による近傍銀河観測への応用(※)
課程博士	天文	富永 望	重力崩壊型超新星の輻射輸送, 流体力学, 元素合成(※)
課程博士	地惑	飯田 晃子	斑晶ガラス包有物研究による富士火山のマグマ供給系(※)
課程博士	地惑	向井真木子	人為起源気候変動要因が東アジア域の放射場と雲場に及ぼす影響に関する研究
課程博士	地惑	室谷 智子	地震波形と水準測量データから見た1946年南海地震の震源過程(※)
課程博士	地惑	Iskhaq Iskandar	インド洋熱帯域南東部における季節内変動(※)

人事異動報告

所属	職名	氏名	異動年月日	異動事項	備考
物理	教授	常行 真司	2007.8.16	昇任	准教授から
化学	助教	高屋 智久	2007.8.16	採用	
物理	助教	Damian Markham	2007.8.31	辞職	
化学	助教	寶角 敏也	2007.8.31	辞職	
地惑	教授	平原 聖文	2007.9.1	採用	立教大学理学部准教授から
生化	教授	飯野 雄一	2007.9.1	採用	遺伝子実験施設准教授から
生化	特任助教 (COE 特任教員)	芹澤 尚	2007.9.1	採用	学術研究支援員から
化学	教授	小澤 岳昌	2007.10.1	採用	自然科学研究機構分子科学研究所准教授から
化学	助教	菅野 憲	2007.10.1	採用	
生化	特任助教 (COE 特任教員)	富岡 征大	2007.10.1	採用	学術研究支援員から
生化	特任助教 (COE 特任教員)	藤井 佳史	2007.10.1	採用	特任助教 (特定プロジェクト特任教員) から

あ と が き

理学部ニュースもフルカラー化して3年目になり、初年度の「本郷以外にある理学系キャンパス探訪」、2年目の「専攻探訪」、そして今年度の「本郷にある附属施設探訪」を経て、ほぼ理学系の全体をひと巡りします。2008年度からは、また新たなシリーズものを開始する予定ですので、良い案がありましたら、ぜひ編集委員会までお寄せください。

「理学のキーワード」も、本号で第11回を迎えました。あと1年ほど蓄積した上で、これらのキーワードは株式会社化学同人から単行本として出版される予定です。ご期待ください。理学部の広報体制は、横山広美先生、竹村三和子さん、山本摩利子さんの3人の活躍で、一段とレベルアップして

来ました。ニュースの編集もそれに負けず、努力したいと思えます。

お蔭さまで外部の読者の方々の中には、この「理学部ニュース」を詳しく読んで下さっている方も少なくないようですが、つねに気になるのは、「理学系の教職員や学生院生の皆さんは、どこまで読んでくれているだろうか」という点です。どうも、あまり読んでいただけていないのでは…。この「あとかき」まで読んでくださった方、ありがとうございます。ぜひお近くの皆さんに、理学部ニュースをちゃんと読むよう勧めてください。近いうちに、理学系内で購読モニターを募集しようかなどと考える日々です。

牧島 一夫 (物理学専攻 教授)

第39巻4号

発行日：2007年11月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会 (e-mail: kouhou@adm.s.u-tokyo.ac.jp)

牧島 一夫 (物理学専攻) maxima@phys.s.u-tokyo.ac.jp

横山 央明 (地球惑星科学専攻) yokoyama.t@eps.s.u-tokyo.ac.jp

上田 貴志 (生物科学専攻) tueda@biol.s.u-tokyo.ac.jp

米澤 徹 (化学専攻) tetsu@chem.s.u-tokyo.ac.jp

渡辺 正昭 (庶務係) mwatanabe@adm.s.u-tokyo.ac.jp

加藤 千恵 (庶務係) c-kato@adm.s.u-tokyo.ac.jp

広報室：

横山 広美 yokoyama@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP担当：

柴田 有 (ネットワーク) yuu@adm.s.u-tokyo.ac.jp

HP & ページデザイン：

大島 智 (ネットワーク) satoshi@adm.s.u-tokyo.ac.jp

印刷・・・三鈴印刷株式会社